

第7回 ときわ台駅周辺地区まちづくり協議会 議事要旨

開催日時 : 令和7年6月23日(月) 19:00~20:30
会 場 : 常盤台地域センター 第2レク
参 加 者 : 委員 14名
事 務 局 : 板橋区まちづくり推進室鉄道立体化推進課 7名
事務局補助 : 株式会社日本インシーク 3名
傍 聴 者 : 10名

1. 開会

2. 会長あいさつ

〔会長〕

お忙しい中、第7回ときわ台駅周辺地区まちづくり協議会にご参加いただき感謝申し上げます。

先月22日にときわ台駅周辺地区まちづくり協議会 地域懇談会があり、34名が参加し、ときわ台に関心がある方が多いと思った。

今回の協議会では、第2回アンケート調査の結果や地区懇談会の意見を踏まえ、昨年度作成したマスタープラン基本構想(案)に対する意見を取りまとめる。よろしくお願い申し上げます。

3. 議事

議題

- (1) 今回の内容と今後のスケジュール(案)について
- (2) 第6回協議会の振り返り
- (3) 基本構想(案)に対する意見のまとめ
- (4) 分科会の設置(案)について
- (5) その他

(1) 今回の内容と今後のスケジュール(案)について

(2) 第6回協議会の振り返り

(3) 基本構想(案)に対する意見のまとめ

＜(株)日本インシークより資料1、2、3、別紙1について説明＞

【意見交換】

〔委 員〕

- ・キャッチフレーズは、具体的なことが決まっていな中で決めようとしたことが問題だと思う。長いという意見があったので、例えば、文字数を決めたり、全員が入りたい言葉を2個考えたりするなど、決め方を考えた方が良いと思う。もしくは、最後にキャッチフレーズを決める方が良いと思う。

〔株日本インシーク〕

- ・今年度、キャッチフレーズは一旦置いておき、まずはまちづくりの具体的な方針と提言について時間をかけて検討し、最後にその結果を踏まえて、キャッチフレーズを決めたいと思う。

〔委 員〕

- ・その意見に私も賛成である。子供から高齢者までが分かりやすいものを決めるとなると、色々な意見を出して具体的な内容を決めてから、キャッチフレーズを決めた方が決まりやすいと思う。

〔株日本インシーク〕

- ・どのようなキャッチフレーズが良いか、皆様の頭の片隅に置きつつ、具体的な検討を進められればと思う。
- ・「アンケート・地域懇談会における主な意見と協議会としての回答（案）」として、問題ないか。

＜委員一同異議なし＞

〔委 員〕

- ・ときわ台のイメージを出すのが難しいと思っている。北と南は、まちが違う。一体的にときわ台という言葉に括り付けるのは間違いではないかと思う。そう簡単に、北のお屋敷町と南口の商店街が融和する訳がない。人との繋がりや行き来の問題が全て解決は出来ないと思う。まちの雰囲気自体が違う。

〔株日本インシーク〕

- ・アンケートでも場所によって違うという意見があった。商店街のにぎわいと、北の住環境は違う話になってくる。今年度の検討では、もう少し具体的な場所をイメージしながら、それが分かる表現を検討する必要があると思う。一つの課題として今年度の検討に生かしていただければと思う。

（４）分科会の設置（案）について

＜事務局より資料１、別紙２、３、４について説明＞

【意見交換】

〔委 員〕

- ・分科会４回で何らかの方針を決めようと思うと、プロジェクトに特化した方が良いと思う。例えば、駅前広場と南北分断、鉄道立体化だけを考えるなど、キーポイントでプロジェクト化しないと意見が分散して、何も考えられないと思う。

〔事務局〕

- ・検討するテーマや内容については、仮として提示している。分科会のメンバーで、詳しく進め方を検討していきたい。４回の分科会でテーマが広すぎると、今までと同じようにふわっとしてしまうかもしれない。最終的な目標はマスタープランの策定になるので、そのゴールを見据えながら進めていきたい。

〔委 員〕

- ・一つのテーマに対して皆さんで意見を出した方が先に進むと思う。一つ一つ丁寧にやった方が良い。テーマ１～５についてまとめて話し合うと、色々な意見が出

てしまい、まとめるのも大変になる。

〔委 員〕

- ・私もその意見に賛成である。

〔事務局〕

- ・分科会で分けているテーマ1・2の都市づくり分科会（仮）と、テーマ3・4・5の魅力想像分科会（仮）は、全部のテーマを1個の分科会で検討する訳ではなく、都市づくりに特化して考える会と、魅力を高めるためにどうするか考える会を分ける想定をしている。大きな目標として、それをメインで検討したいと考えているが、具体的に何を検討するかは、分科会のメンバーと相談させていただきたい。

〔委 員〕

- ・それぞれの分科会が同日開催なのは、最後に話し合ったことを発表する想定なのか。

〔事務局〕

- ・最後に話し合うか、次回の分科会の最初に共有するかは検討中であるが、決定機関ではなく検討する機関であるため、お互いの情報共有は行っていきたい。

〔委 員〕

- ・チーム分けはどうするのか。

〔事務局〕

- ・この後の検討事項で、お聞かせいただきたいと思います。

【検討事項】

〔事務局〕

- ・分科会の設置について、ご意見はあるか。

〔委 員〕

- ・協議会では前に進まないため、分科会は設置した方が良い。

〔事務局〕

- ・設置という意見があったが、分科会は設置することで良いか。

＜委員一同賛成＞

〔事務局〕

- ・それでは分科会は設置する方向とする。
- ・次は公開の有無と規約の改正について、分科会を設置する場合は規約を改正する必要がある。それに伴い、分科会を公開するか非公開とするかによって、文言が変わってくる。分科会を公開するか非公開とするかを皆様にお聞きしたい。

〔委 員〕

- ・非公開で良いと思う。

〔委 員〕

- ・仮に公開するとして、同時に分科会を開催する場合は、傍聴者は全体を見るのか、それぞれの分科会を傍聴するのか。

〔事務局〕

- ・公開する場合は、後ろの方に座って全体を見てもらう形になる。

〔委 員〕

- ・分科会だから、非公開で良いと思う。

〔事務局〕

- ・非公開という意見が多いが、非公開という形で良いか。

＜委員一同賛成＞

〔事務局〕

- ・では、別紙４の協議会規約が改定になる。本日付で協議会で承認いただいたという事で良いか。

＜委員一同異議なし＞

〔事務局〕

- ・分科会のメンバーについて、参加していただける方はいるか。

〔委 員〕

- ・今日、欠席の方はどうするのか。

〔事務局〕

- ・欠席の方は、個別に希望をお聞きする。

〔委 員〕

- ・出席した方でも悩んでいる方は、メールで送る形で良いと思う。

〔委 員〕

- ・チーム分けが偏った場合は、どうするのか。

〔事務局〕

- ・チーム分けは人数のバランスによって考える。どちらの分科会も、最低３～４名いた方が良いと思う。７月に分科会を開催する予定のため、日程の調整もさせていただきたい。メンバー決めもこの場で判断が難しそうであるため、改めて相談させていただく。

（５）その他

〔事務局〕

- ・１０月頃に現場見学会を考えている。上板橋駅北口周辺地区まちづくり協議会とときわ台駅周辺地区まちづくり協議会の合同で、他自治体の現場視察を行いたいと考えている。
- ・以前実施した委員の皆様へのアンケート結果を参考に事務局で検討させていただき、９月の協議会でお示したいと思う。

〔委 員〕

- ・９月は祭りがあるので、調整してほしい。

〔事務局〕

- ・協議会は９月終り頃、現場見学会は１０月中旬頃を想定している。

〔委 員〕

- ・現場見学会はどのような想定をしているか。

〔事務局〕

- ・人数によるが、バスを想定している。

〔委 員〕

- ・現時点で立体化するか地下化するか決まっていないが、両方を同日に見学するか。区でどのようなところを見学するか、ある程度決まっているのか。

〔事務局〕

- ・特に決まっていない。

〔委 員〕

- ・色々なまちづくりを見るのであれば、地下化した下北沢の例と、高架化した中央線の武蔵小金井あたりを同日に見た方が良かったと思った。

〔事務局〕

- ・立体化を検討するためではなく、まちづくりでどのようなまちになるかイメージしやすいように現場見学会を行いたいと思っている。

4. 閉会